

次世代 HERO

Next Generation's Hero

第4回全日本青少年フルコンタクト
空手選手権大会 優勝
(中学3年生女子軽量級)

梅光学院高等学校1年

かわむら なな
河村 奈々 さん



▲決勝戦の映像／河村さんはゼッケン1189(赤)

●フルコンタクト空手…実戦を重視した、直接打撃制ルールを採用する空手のこと。

次 は絶対に優勝する！ 昨年、同大会での惜敗(3位入賞)を前田市長に報告した際に、そう宣言した河村奈々さん。それから1年間ほぼ毎日、九州の道場で練習し心技体を磨き続けました。地区大会や国際大会を制覇(優勝)し、さらに強くなった河村さんは、リベンジを胸に自身4度目の同大会に挑みました。

決勝戦の相手は、これまで2度対戦し、勝てなかった相手でしたが、河村

さんは蹴りと持久力を武器に、延長の末、見事に勝利。有言実行であの日にケリをつけます。指導者の網川来夢さんは「セコンドだった私の前で優勝してくれた。奈々ちゃんは努力家で負けず嫌い。それが彼女の強さの源です」と評価します。

5月開催の国際大会は一般の部での挑戦。「一つでも多く勝つ。もっと上を目指したい」と語る河村さんの今後の活躍にますます目が離せません。



▲空手チャンピオンにも意外な弱点が？「虫が怖いです」



関門連携市民野球大会

64年ぶり開催 関門連携市民 野球大会(前編)



市長コラム 希望の風 市長の部屋

こんにちは！ 前田晋太郎です。
皆さんは「関門連携」という言葉をご存じですか？

お隣の北九州市とは、美しい関門海峡をまたいで、これまで長い歴史と生活圏を共有し歩んできました。両市のさらなる発展のため、「関門連携」をキーワードに、さまざまな取り組みを進めています。北九州市の武内市長と議論を重ねる中で、昨年度いくつかのチャレンジをしました。その中の一つが「関門連携市民野球大会」です。

今から64年前に開催された最後の交流試合。その勝者は、私たち下関市でした。大会ルールでは、勝者に大きな「優勝盾」が渡されることとなっています。しかしなぜか、その盾は下関市に渡ることなく、64年間、門司に眠ったままとなっていたのです。

北九州市の皆さんがこれに気付いて、武内市長を通じて教えてくれ、私たちも優勝盾を確認しました。盾には、第1回から第3回大会の勝者の名前が刻まれており、最後に刻まれた勝者は「下関市」となっています。

「武内市長、最後に下関市が勝ったと刻まれているのだから、この盾はさっそく下関市に返してくださいよ」と、私が言うのと、武内市長はなんと驚きの発言をしたのです！

(7月号に続く…)